

中耕と除草剤散布(移植・直播)について

JA今金 農業経営課
北海道糖業(株)道南製糖所 原料課

1. 中耕について

中耕は、雑草を取り除く効果のほか、トラクタの踏圧・降雨等で固くなった土壌を膨軟にして地温を高め、通気性や透水性を良好にする効果があります。

- (1) 初期生育促進のため、中耕を苗活着後速やかに行う。
- (2) 施工深度は生育初期には広く浅く実施し、生育が進むにつれて狭く深くして下さい。
- (3) 根際部を埋めるような中耕培土は根腐病の原因になるので注意して下さい。

2. 除草剤について

(1) 移植栽培

【使用基準は10a当り・水量は100ℓ/10a】

対象雑草	使用時期	使用薬剤
ツククサ 多発圃場	移植活着後 (5日～ 7日後)	フィールドスターP 乳剤 100ml (展着剤なし)
広葉	雑草 発生前期	ベタナール乳剤300ml + レナパック水和剤150g + レナテン100ml または ベタハーブフロアブル600ml + レナテン100ml
イネ科 双メカビラ	雑草発生 から3～8 葉期まで	ナブ乳剤200～300ml または ポルトフロアブル 300ml セレクト乳剤 75ml
ツククサ 多発圃場	中耕・培土 直後	フィールドスターP 乳剤 100ml (展着剤なし)

- ※ 2回目の散布は、1回目散布後20日目前後に散布（機械除草を上手に組込む）。
- ※ イネ科雑草発生時は、イネ科除草剤を同時散布する。
- ※ ツククサ等難防除雑草の発生が予想される圃場は、北糖（090-1643-9222）またはJA・関係機関に相談する。

除草剤による防除ストレスからの早期回復には、
スーパーハイケルプ 500倍（200ml）～600倍（170ml）/10a
の同時散布をお勧めします。

(2) 直播栽培

【使用基準は10a当り・水量は100ℓ/10a】

回数	使用時期	使用薬剤
ツユクサ 多発圃場	播種直後 1～3日以内	注1 デュアルゴールド 100ml (展着剤なし)
1回目	ビート本葉 2葉展開後	ベタハーブフロアブル 400ml + レナテン 100ml 【水量 80L】
2回目	1回目散布から 7～10日後	ベタハーブフロアブル 500ml + レナテン 100ml または ベタナール乳剤 300ml + レナパック水和剤 100g + レナテン 100ml
3回目	2回目散布後 10～14日後	ベタナール乳剤 300ml + レナパック水和剤 150g + レナテン 150ml または ベタハーブフロアブル 600ml + レナテン 150ml
ツユクサ 多発圃場	中耕・培土 直後	フィールドスターP 乳剤 100ml (展着剤なし)

注1 雑草の幼芽・幼根に効果が高いため、播種後すぐに土壌散布する。他の除草剤と同時散布し薬害が生じた事例があるため、同時散布は推奨しない。散布前後の降雨状況によって効果に差が出ることに留意する。散布後3週間程度はカルチベーターを施工しない（除草剤の処理層が破壊され効果がなくなる）。砂土では使用しない。

※ 2回目散布後雑草が残っている場合は、3回目を散布する。

※ イネ科雑草発生時は、イネ科除草剤を同時散布する。

除草剤による防除ストレスからの早期回復には、
スーパーハイケルプ 500倍 (200ml) ～600倍 (170ml) /10a
の同時散布をお勧めします。

(3) 広葉除草剤とイネ科除草剤の同時散布は可能です。

(4) 噴口は一般防除用 (0.8 mm程度)、散布圧は 15 kg/cm²程度が効果的ですが、天候や圃場条件等考慮し散布にあたって下さい (ドリフト注意)。

(5) 除草剤による事故や薬害防止のため下記点に注意して下さい。

①高温時 (25℃以上) の散布は避けて下さい (薬害防止)。

②散布前には必ずスプレイヤーの洗浄を確認して下さい (スプレー含む)。

③農薬の使用基準を確認して下さい。

※ご不明な点があれば独自での判断はせず、JA・普及センター・北糖等にご確認下さい。

以上